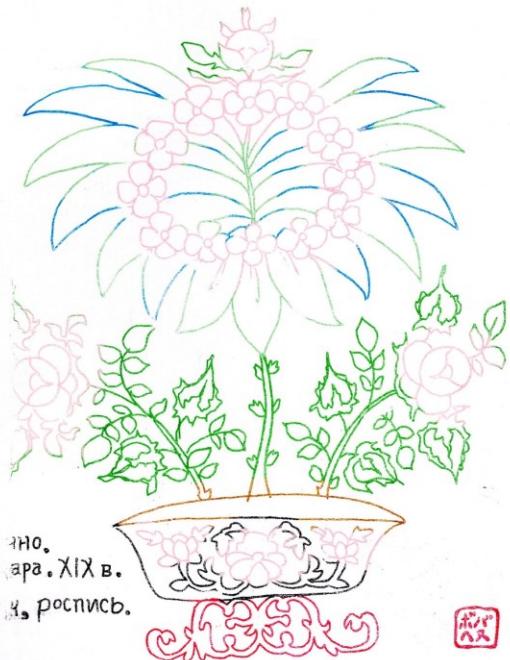


東京学芸大学中央アジア学術調査隊

風と人と夢と

1993年



自然文化誌研究会

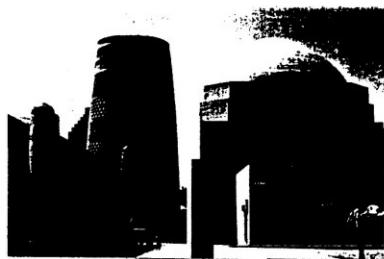
風と人と夢と — ユーラシアをつなぐ雑誌文化 —

☆ 日時：12月10日（金）午後6時～8時半
☆ 場所：国立教育会館 601大会議室

☆ 報告：

- 西トルキスタンの自然環境
北野日出男（東京学芸大学教育学部）
- 栽培植物とその利用...とくに食文化について
木俣美樹男（東京学芸大学附属野外教育実習施設）
- 衣と住にかかわる民俗
福留友子（東京学芸大学大学院アジア研究）
- 教育制度と子ども文化
日比野真士（東京学芸大学大学院生涯教育）
- 伝統技術と生活における美意識
中込貴芳（東京都立江東養護学校）
司会 石橋隆明（森とむらの会）

- ◇ 主催：東京学芸大学中央アジア学術調査隊
- ◇ 後援：自然文化誌研究会・（財）森とむらの会・日本環境教育学会
- ◇ 連絡先：〒184小金井市貫井北町4-1-1 東京学芸大学
附属野外教育実習施設 tel.0423-25-2111#2925



◎ 関連行事

- △ 中央アジアの写真・民具・図書展
日時：11月15日（月）～19日（金）
場所：東京学芸大学図書館2階ロビー

- △ 中央アジア学術調査隊報告会
日時：11月19日（金）午後1時～3時半
場所：東京学芸大学図書館3階AVホール
報告：自然と文化...木俣美樹男（附属野外教育実習施設）
植生...須藤真（教育学部自然環境科学）
食文化...叶田真規子（教育学部文化財科学）
衣・住文化...福留友子（大学院アジア研究）
教育制度...日比野真士（大学院生涯教育）
- △ 大学祭にてトルキスタン料理の実演・韓国济州島調査報告会
日時：11月20日（土）～23日（火）
場所：東京学芸大学武蔵小金井キャンパス内

ご挨拶

イネ・ムギ以外のイネ科穀類を今日の日本では雑穀と総称している。しかしながら、アワ・キビ・モロコシ・ヒエ等の雑穀類はユーラシア大陸において新石器時代以降の農耕文化・文明を支えてきた重要な栽培植物である。なかでも、アワとキビは中央アジアから北西インド亜大陸にかけての地域でドメスティケイトされたと考えられ、その後、中央ヨーロッパ、シベリア、東アジアあるいはインドへと伝播し、様々に加工・調理され、今日にまで伝えられてきた最も重要な生きた文化財（遺伝子資源）である。地理的起原地について「中央アジアからインド亜大陸」説を新しく提唱したのは、京都大学の阪本草男教授を中心とする雑穀研究グループであり、私もその一員である。実験研究においては、この学説はかなりの程度証明できているが、今日までにインド亜大陸におけるフィールド調査研究は四次にわたって行われたが、中央アジアにおいては行われてこなかった。旧ソビエト連邦が崩壊し、中央アジア5ヶ国が独立して始めて、私たちはフィールド調査の可能性を得ることができたのである。

私にとって中央アジアは一生の憧れの地であった。もちろん現在では民族植物学的興味が中心ではあるが、実は井上靖さんの西域もの（小説）は高校生の頃からいく冊も読んでいた。いつまでも鮮明に記憶して、情景に色彩までつけられるのは、ウイグルの王女が城壁から身を投げるシーン（「敦煌」）である。最近、奈良県にお住まいの民俗学者岸田定雄先生が同じことを雑誌にお書きになっており、ご本人からそのコピーをいただき、30歳ほども年齢差がありながら、うれしい共感を覚えた。

今回の調査を実施するにあたって、私どもはいくつもの幸運に恵まれた。まず、①福島県の宍戸利夫さんが私どもの計画をウズベキスタンの国際交流協会のガイボフ会長に伝えてくださったこと、②彼からウズベク植物産業研究所に連絡をとっていただいたこと、③出発前にタシケント大学の学生9名が東京に来たいということで、自然文化誌研究会冒険探検部でホームステイ（下宿に泊めること）を引き受けたこと、④彼らには現地で大変にお世話になった、⑤ウズベク植物産業研究所の共同研究者であるザキールジャン研究员が有能な方で、ペトロールの獲得を含め困難な調査旅行に同行してくださったこと、⑥東京学芸大学の蓮見音彦学長始め、部局長・教職員の皆様のご援助があったこと、⑦J.T.クロスカルチュア大賞（受賞者小西司）などの調査研究費支援があったこと、⑧隊員のチームワークと心身の健康が良かったこと等、書ききれないほどである。

私たちは社会的にも、経済的にも、宗教的にも、激動極まりない旧ソビエト連邦に出かけ、調査研究成果をあげ、多くの遺伝子資源・さく葉標本・民具・文献資料とともに無事帰国できた。ご支援を惜しまれなかつた中央アジアと日本の方々に、深い安堵を持って心からの感謝を申し上げる。

1993年11月15日

東京学芸大学中央アジア学術調査隊
隊長 木俣美樹男

中央アジア学術調査隊のメンバー

隊長	木俣美樹男	附属野外教育実習施設助教授（自然文化誌研究会理事、冒険探検部顧問）
顧問	北野日出男	第3部理科教育学研究室教授（自然文化誌研究会顧問）
	石橋隆明	（財）森とむらの会事務局長（自然文化誌研究会顧問）
隊員	中込貴芳	都立江東養護学校教諭（自然文化誌研究会理事）
	日比野慎士	大学院1年生涯教育専攻（自然文化誌研究会冒険探検部）
	福留友子	大学院1年アジア研究専攻（自然文化誌研究会冒険探検部）
	叶田真規子	学部4年文化財科学専攻（自然文化誌研究会冒険探検部）
	須藤真	学部3年自然史専修（自然文化誌研究会冒険探検部）

調査地の概略図

